



銀座の言語景観4

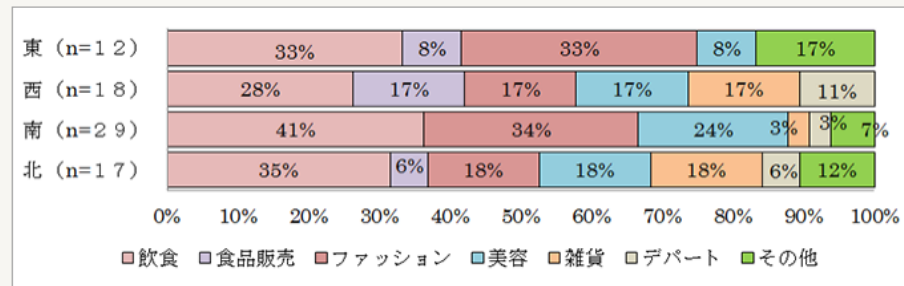
日本大学文理学部国文学科
日本語学基礎演習2

- はじめに
- 銀座における臨時的掲示の言語使用
- ファストファッション店の言語サービスの違い
- 日本食店からみた銀座
- 店舗入り口付近の掲示類からみた銀座
- 飲食チェーン店の言語使用—銀座と池袋を比べて—
- 「銀座」表記の影響—エリアによる違い—
- 中央通りの寿司店—東京方面と新橋方面の差—
- おわりに

第7章 「銀座」表記の影響—エリアによる違い—

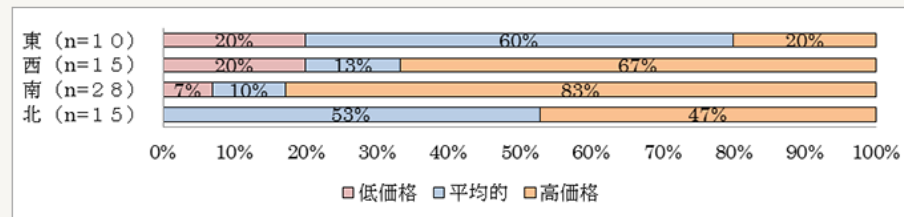
7.2.店舗種類・価格の分析 (担当：山之井徹)

図1.店舗種類



全体でみると飲食店の割合では西と南で開きがあるが、食品販売店の割合が南側は0%であったのに対して西側では17%あった。またすべてのエリアで飲食店と食品販売店という「食」を扱う店舗全体の40%以上の割合を占めていた。

図2.価格帯



(一部価格が不明、または調査不可能の店舗があったため図1と数がずれている。)

図2から低価格と設定した店舗の数はすべてのエリアで低い割合であったことがわかる。また対象の店舗がない場合もあった。東と北では平均的な価格の店舗が50%以上を占めていたが、西と南では10%台の前半にとどまっており高価格の店舗が60%台の後半から80%以上の割合であった。

7.1.調査概要

7.3.「銀座」表記の書体について (中川健司)